

平成30年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立市民交流センター

指定管理者名：（公財）河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	S	S
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	S	S
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	S	S
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	13,500,000	14,029,430	-529,430	14,567,040	
	自主事業収入	30,856,000	28,459,247	2,396,753	31,268,014	
	物品販売収入	5,000	5,660	-660	11,170	
	手数料収入	713,000	522,268	190,732	698,466	
	指定管理料	94,198,000	96,647,008	-2,449,008	101,660,266	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	139,272,000	139,663,613	-391,613	148,204,956	
支出	人件費	41,409,248	33,380,593	8,028,655	38,840,186	
	事務費	382,000	493,007	-111,007	405,359	
	管理費	42,019,000	50,246,728	-8,227,728	47,580,277	
	自主事業経費	18,294,000	17,428,668	865,332	19,363,063	
	光熱水費	38,681,000	32,329,030	6,351,970	32,769,900	
	リース料	1,004,000	1,003,104	896	1,003,104	
	その他	784,000	814,248	-30,248	502,100	
	支出総額	142,573,248	135,695,378	6,877,870	140,463,989	0
収支差額	-3,301,248	3,968,235	-7,269,483	7,740,967	0	

3. 総合評価

自己評価
<p>生涯学習推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学連携講座では昨年に引き続き、大阪千代田短期大学との連携による、地域の課題解決に向けた7回連続のグループワークを行なった。「川上小学校区まちづくり協議会」と「楠小学校区つながる会」の協力で地域の課題解決に向けたプログラム案を作成し、提案した。また、その案を協議会の計画に取り入れるという一定の成果があった。 ・教養講座では、人気の「漢字研究の巨星 白川静の世界」のシリーズに、今年新たに親子で学ぶ漢字「河内長野漢字探検隊」講座を実施した。夏休みに、小学生のお子様、お孫さんといっしょに漢字の成り立ちからその意味を学ぶ、有意義な機会を提供できた。 ・昨年度より開始した「くろまる塾運営ボランティア」の活動が定着し、登録者13名(1講座平均4名)が年間40講座の受付、司会、記録などの活動に参加した。 <p>施設管理及び貸館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は非常用発電機の修繕や直流電源装置蓄電池の取り換えなどをはじめ、緊急に実施すべき修繕が非常に多く、修繕費の執行も非常に多額となったが、指定管理者である当財団の経費により先行して実施し後に精算することにより、早急に適切な修繕の実施を可能とし、利用者の利便性と安全を確保することができた。 ・施設利用料については、平成26年度の指定管理開始以降毎年増収を続け、昨年度は指定管理開始時に比べ1,238千円増収の過去最高益となった。本年度は昨年に比べ微減となったものの、ほぼ同程度の利用料収益を上げることができ、お客様から高い評価をいただいているものと受け止めています。 ・利用者アンケート結果については、例年どおり高い評価をいただくことができたが、中でも「非常良い」、「良い」を合せた良評価が、受付職員対応では94.8%、次回利用では98.7%と昨年を超え非常に高い評価を得ることができた。 <p>法人運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士と顧問契約を結び、2ヵ月に1度程度外部監査を行い適正な経理業務の執行に努めた。 ・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めた。 ・弁護士との顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めた。
市評価
<p>生涯学習推進事業</p> <p>大学生と共に学ぶ地域課題の解決に向けたグループワーク形式の講座や、他3団体との共催によるボランティア入門講座の実施、また、くろまる塾運営ボランティアを募り活動を推進するなど、学びの成果を地域課題の解決やまちづくりに繋げていくため、地域で活躍する人材育成に努めており評価できる。教養講座については、新たに親子で学べる講座を設ける等、働く世代などを含めた参加者の開拓に努めており評価できる。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>施設管理については、事故防止の観点から適切な修繕を実施しており評価できる。</p> <p>貸館事業については、利用料収入が指定管理開始以後増加しており、利用者アンケートにおいても良好であり評価できる。</p> <p>法人運営</p> <p>公認会計士、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めており評価できる。</p> <p>文化会館と市民交流センター両施設の指定管理者となっているため、今後も一体的かつ円滑な管理運営と相乗効果による多様な事業展開を期待する。</p>